ブラジル朝日新聞
(聖伯新聞) 伯剌西市マエストロ・ウルダン街一一〇丸善行所 ブラジル朝日新聞社 本紙定價年六十ミルレイス 郵便料百廿ミルレイス

伊軍愈よ大攻勢

精鋭部隊を續々集結 國境線に猛攻の火蓋 待望の埃及進撃開始

A Italia inicia a offensiva contra o Egypto.

【カイロ十二日同盟】カイロの英近東軍當局の言明によれば、過般來イタリア軍新鋭部隊はリビア、埃及國境線に增强され着々對埃及大攻勢の準備を進めてゐたが、十二日に至り國境線に沿つて愈よ猛砲撃の火蓋を切り、終日英伊兩軍の間に猛烈な砲撃戰が展開された

【ニューヨーク十三日同盟】イタリア軍の埃及進攻は獨軍の對英上陸作戰開始の危機切迫とともに必至と見られてゐたが、十二日ニューヨークに達した非公式ローマ情報によれば、果然イタリア軍は十二日午前待望の埃及作戰を開始したといはれる、但し右情報の眞偽についてローマ官邊ではまだ確定も肯定もしてゐない

【ニューヨーク十三日同盟】イタリア軍の埃及侵攻は獨軍の對英上陸作戰開始の危機切迫とともに必然的に開始せられた、伊軍の主力は三隊に分れて作戰してゐるが、一隊は北リビアから地中海岸に沿ふてスエズ運河に向け、他の一隊は南リビアからエジプトスダンを中央で切斷し、第三隊はエリトレアから行動をおこして紅海に面するポートスダンに向け進撃してゐる

進路を二方に分ち 沙漠を横斷合流か

【ロンドン十二日同盟】十二日ニューヨークに達した伊軍の對エジプト攻撃は遂たと報じてゐる

【ロンドン十二日同盟】十二日午後リビア北方カガルツツ附近においてイタリア軍の埃及國境線に沿ひ、二、三日來リビア北方に進出する、しかして第三の部隊は埃及スダン國境線に沿ふて作戰するものと見られる、しかし海岸の部隊の如きは他の部隊と合流するに適當たる沙漠の海を直進するものと見られ、七、八百キロも敵軍としなければならないから相當困難であらう

【ロンドン十二日同盟】イタリア軍の埃及國境線沿ひ埃及をつき他の一隊はカスカから西北方面に進出する、しかして第三の部隊は埃及スダン國境線に沿ふて作戰するものと見られる、しかし海岸の部隊の如きは他の部隊と合流するに適當たる沙漠の海を直進するものと見られ、七、八百キロも敵軍としなければならないから相當困難であらう

【ロンドン十二日同盟】伊軍の對エジプト作戰開始に關し十二日のDPローマ電はファシスト黨紙でもこの報道を繼續し左の如く語つてゐる

【ロンドン十二日同盟】伊軍の對エジプト作戰開始については英政府當局はいまだ公報はないが、事實であらうと滅近におけるイタリア軍の埃及國境線沿ひ進撃につき左の如く語つた

【ロンドン十二日同盟】十二日午後十一時英空軍ベルリン爆撃その他に關し英空軍省は十二日次の如く發表した

【ロンドン十二日同盟】十一日より十二日にわたる深夜の英空軍ベルリン爆撃その他に關し英空軍省は十二日次の如く發表した

英空軍は十一日午後十一時半過ぎベルリン上空に到着先づポツダム驛構内に強力爆弾を投下、續いて多數の焼夷弾を撒き散らした、ついで十二日午前零時から五分間アンハルター驛を襲ひ

英空軍再び伯林へ 深夜を衝いて猛襲 燒夷彈を隨所に投下

マジノ線の戰跡を視る

一メートルのペトンも粉微塵 空しく殘る佛兵の殘飯

【ナンシーにて大野特派員發】夏の陽を受けて滿々と溢へる上部ラインの急流は蒼く光り獨佛國境を縫つて果しもなく流れてゐる、そして兩岸に點々と相對立する獨佛軍兩のトーチカ陣地が明らかに見え、マジノ線とジークフリート線の尖端がとゝにあるのだ、フランスがドイツの軍門に屈服して以來、その金城鐵壁を誇んだマジノ線の威容がいま記者の眼の前に死のごとく沈默して横たはつてゐる、われわれ外國新聞記者團の一行は戰後はじめて上部ラインのブレザックを起點とし北西はメツク、西南はベルフオールに伸びるいはゆる本格的マジノ線の尖端に沿うてフランス軍敗退の跡を視察した

マジノ線の尖端を望むブレザック はアルサスの背脊ストラスブールの南方約七〇キロの地點河幅約二二〇メートルのライン河を距てゝドイツ領を眺み河岸に沿うて幾々とトーチカ陣地を築いてゐる、六月九日からマジノ線總攻撃に移つたドイツ軍は十五日の朝霧をついてライン河の敵前渡河を決行し、この地帶一帶を占領して早くも十七日にはベルフオールに達したのだ、土手の下に二百メートルほどの間隔をおいて民家のごとく裝つて點在するフランス軍のトーチカは對岸からするドイツ軍の猛射を

浴び

ていづれも鋼鐵の厚さ約一メートルのペトンはくづれて鐵骨を露出し中央上部に約三センチの厚さをもつ鋼鐵の鐵頭型の銃座は眞正面から彈丸に貫かれ、或ひは微塵に碎かれてゐる

ドイツ軍の新鋭部隊たるモ

獨海空軍 基地完成

【〇〇基地十三日同盟】海軍航空部隊は十一、十二の兩日獨空軍基地建設を急ぎつゝあつたが、これらの工事はいまや殆んど完成したといはれる

【ジュネーブ十二日同盟】十二日ヴヨよりの情報によれば獨軍は最近對英攻撃に資すべくノルウエー沿岸一帶に軍事施設、海空軍基地建設を急ぎつゝあつたが、これらの工事はいまや殆んど完成したといはれる

獨空軍の戰果 英京の被害甚大

【ロンドン十二日同盟】英空軍省は十一日夜同夜の獨空軍の英國及びフランスの諸港に對する大攻撃に關し左の如く發表した

即ち十一日午前六時海軍爆撃隊は寧波市を急襲し寧波市内外の敵軍事施設群に豆彈を浴せ、敵司令部および縣廳部を木葉微塵に爆碎したほか、寧波中學校舎内の防空陣地ならびに機場附近の軍事施設を完膚なきまでに破、つゞいて翌十二日午後には浙江省内各地を奇襲し浙江省内敵軍要塞群を猛烈撃して左の如き成果大なる戰果を收め全機無事帰還した

【〇〇基地十三日同盟】海軍航空部隊は十一日午前六時海軍爆撃隊は寧波市を急襲し寧波市内外の敵軍事施設群に豆彈を浴せ、敵司令部および縣廳部を木葉微塵に爆碎したほか、寧波中學校舎内の防空陣地ならびに機場附近の軍事施設を完膚なきまでに破、つゞいて翌十二日午後には浙江省内各地を奇襲

わが海の荒鷲群 中支一帶に大空襲 敵軍事施設を次々粉碎

重慶 第卅四次 連爆

【〇〇發十三日同盟】中支艦隊報道部十二日發表、海軍航空部隊は本日快晴を利し各種機の緊密なる協同のもとに重慶に六月十五日の早朝敵の油斷を衝いて一齊に火蓋を切り、フランス軍の應酬の遑もなく數時間にしてこのライン河畔の第一線を沈默せしめたといふ、だから對岸のジークフリート線の最前線には殆ど損傷がないのだ、しかしこの一方的な敵前渡河戰の成功は今はフランス軍の士氣の沮喪にも原因してゐる

トーチカの正面の銃座を破壊しさるや、フランス軍は左右兩翼に殘つた機關銃を捨てゝどのトーチカからもとゝ白

旗か

ふとだ、三十數人のうち戰死傷者がわづかに二人しかなかつたといふトーチカがあるくらゐだ

ドイツ軍の射出した砲彈がトーチカの正面の銃座を破壊しさるや、フランス軍は左右兩翼に殘つた機關銃を捨てゝどのトーチカからも逸早く白

旗か

ふとだ、三十數人のうち戰死傷者がわづかに二人しかなかつたといふトーチカがあるくらゐだ

裏側の土手の下にドイツ兵の墓が一つ十字架のうへに鐵兜を頂き銃が立てかけてあるのだ、早くから狙ひ定めておいたドイツ軍は十五サンチの高射砲を主力

倫敦株式市場

【ロンドン十二日同盟】ロンドン株式市場は依然取引少量昨日チャーチル英首相が獨軍の英本土上陸迫きにありと演說したので人氣は全く混沌

獨海空軍 基地完成

重慶 第卅四次 連爆

北支と日本を結ぶ 關門青島に工學の手入れ 繰出す我建築挺身隊

【青島十三日同盟】青島は華北以來北支と日本を結ぶ重要港

【〇〇基地十三日同盟】中支艦隊報道部〇〇基地發表、海軍航空部隊は十二日重慶第三十三次攻撃を敢行、進撃群は、おりから中秋の月明を仰ぎつゝ好適の霧進をつゞけ、十二日午後十時重慶上空に突入、舊城内に集中彈を浴せ殘余の敵殲滅軍事施設を徹底的に爆碎十二分の戰果を收め全機悠々基地に歸還した、なほ重慶全市街は畫間爆撃に引續く攻撃に全く怯えきりわが爆撃の凱音のみ周邊に谺し

官廳事務を再編成 文化外交左樣なら 外務省、新スタート切る

【東京十三日同盟】外務省では官廳事務再編成の手始めとして文化事業部を廢止することになり首腦部の意見が大體

輝く我戰果 新四軍大掃滅

【南京十二日同盟】江北地區に蠢動する共産新四軍を斷乎撃滅すべく行動を起した海軍諸部隊は江上艦隊と協力して

米の軍事訓練案 漸く安協案成立 愈よ上下兩院に廻付

【ワシントン十二日同盟】懸てゐた意義年齢を巡に非一才

火藥工場爆發す 損害千八百萬弗 米政府、事件を頗る重視

【ダンブルグ(ニュージャー州)十二日同盟】十二日午後突如ニュージャーシー州ダンブイルの一大藥工場が爆

參戰の準備工作か スペイン内相訪獨

【マドリード十二日同盟】スペイン、フアランヘ蘭總裁スペイン、フアランヘ蘭總裁スペイン内相は今回獨伊の招請

總裁は首相に專任 新體制準備會で決定か

米秘かに輸入圖る 原鑛を

保有金を ソ聯、英に要求

【ニューヨーク十二日發】ロンドンよりのUP電によれば、

參戰の準備工作か スペイン内相訪獨

總裁は首相に專任 新體制準備會で決定か

米秘かに輸入圖る 原鑛を

保有金を ソ聯、英に要求

寫眼

伯英 自由 公定
伯米 英ポンド 英ポンド
伯日 一ペンス 一ペンス

脚光を浴びる佛印問題

佛印問題は、今や時代の脚光を浴びて登場した。もちろん日本との關係が問題となつてゐる、各方面から入る情報は區々であり、或るものは日本が軍隊の通過および軍事基地獲得など、過當な要求を佛印に突きつけたなど報じてゐるが、これはもとより俄かに信じ難いところであらう、村盟通信はこれについて、何らの報道をも行つてゐないから日本筋よりの正確な情報は皆目わからないが、何れにせよ日本側の佛印國境監視團の設置以來、日本と佛印現地側、これと並行して各本國政府當局間に、佛印問題に關し交渉が進められつゝあることは、誰眼に看てゐる

日本と佛印の關係を見るにその經濟的關係は良好のホンゲイ炭、マンガン等の鑛產、米、ゴム、チーク材など熱帶農產品など日本の必要とする重要資源に富んでをり、その相當量を日本は輸入し來つたが、もとより獨印その他東洋市場とは未だ比較にならないほど少なかつたもの、その進展は將來にまつもの多いといへまう、從つて佛印も日本との關係はむしろ政治的方面にありこれが解決を措いて双方の經濟關係の改善は望まれぬ狀態にあると見られる、從來佛印は支那を隔て且つ政治的事情によつて、日本とはむしろ遠隔の關係にあつたが、支那事變後の日本の南支建設により今や隣國的關係に立つにいたつた、從つて双方の間にその變化と調整して、親善關係を促進せしめようとするのは當然のことといへよう

元來佛印は歐洲大戰勃發前より從來國の隨一として本國政府と歩調を合せ、ゆはゆる佛印ルートによつて重慶政權に輸血を續け、日本の對支政策に甚大な阻害を與へ來つたものである、しかるに歐洲大戰勃發一年足らずで獨佛休戦成り、佛本國の敗覆は百丈千度的轉換を示し、獨伊傀儡に接近を余儀なくさるに及んで、日本と佛印の關係も自然その影響をうけて著しく改善されるにいたつた、即ち佛印側は日本人にたゝえるその國境監視員設置を許容し、監視團の駐在に對しあらゆる便宜を提供するなど、從來の態度から見て手の平を返すごとき誠意を示すにいたつたのである

これはもちろん、變轉極まりなき世界現情勢のしからしめる所ではあらうが、佛印自體が本國の危機、その重要地における地位に目覺めたからに外ならず、東亞の重要をもつて任ずる日本と對峙して、よくその地位を保ち得ぬ點に鑑み違したから夫と考へられる、日本は現に佛印に對し商大臣を派遣し、極めて平和友好的に兩國關係の調整進をもつて佛印を抑へるごとき交へあるまい

「黒潮」蹴つて南國へ
小林特使愈よ安着
直ちに蘭印總督を訪問

A chegada do Delegado Japonez em Batavia

【パタビア十三日同盟】十二時半在留日本人會の聞印、邦人數百名熱烈に相迎し午後六時チヤルガ蘭印總督を訪問、齋藤總領事、ロビンソン蘭印東亞局長同席で約一時間にわたり懇談をとげた右會談後小林特使は

總督訪問はまづ蘭印當局の吾々に對する厚き歓迎に對して謝意を表するためである

【パタビア十二日同盟】十二日朝パタビアに到着、蘭印官民の歓迎を受けたわが蘭印特派使節小林商相は同日日蘭間の有無相通、相互依存の經濟關係緊密化の必要を力説する初のメッセージを送し、蘭印側に呼びかけた

と語つた、なほ小林特使は同日パタビアに安着した小林特使は同日パタビアに到着、蘭印官民の歓迎を受けたわが蘭印特派使節小林商相は同日日蘭間の有無相通、相互依存の經濟關係緊密化の必要を力説する初のメッセージを送し、蘭印側に呼びかけた

經濟、國際の權威
蘭印側三代表の經歷

【パタビア十三日同盟】蘭印政府は十二日齋藤總領事に對し文書をもつて、蘭印政府は左の諸氏を日蘭會商蘭印側代表に任命した旨正式通告し來つた

ファン・モーク經濟相　ジエーエント・ホーフエンファン・オーグスト・ワーテン經濟省通商局長

【パタビア十二日同盟】日蘭會商出席の蘭印側三代表の略歴は次の通り

ファン・モーク經濟相　中部ジャバのソマランゲに生れ本年四十七歳、オランダ本國のライデン大學卒業後蘭印政府官吏となり一九三四年經濟省に入り、昭和十一年五月來朝、名古屋で開かれた太平洋博覽會で蘭印事情の紹介に努めたことがある、現在蘭印における經濟方面の最高權威の一人である

エントーフエン法相　同じく蘭印生れで當年五十歳、特に國際法の權威として知られる

ファン・オーグスト・ラーテン經濟省通商局長　オランダ本國の生れで同十七歳、一九三三年經濟省に入り現在

事變下の我金融界
需要依然增勢を辿る

【東京十二日同盟】下期に入つてからの金融界は、金融基調の強化、市場資金の減少を もつて特徴づけられてゐるが、最近の生產擴充資金ならびに各種救濟資金の需要は當局屢次の抑制策にも拘らず依然增勢を持續し、しかも他方資金の供給は圓滑を缺くかに見へ、これが對策の早急なる樹立が要望されてゐる

即ち東京組合銀行週報によれば九月七日現在の貸出金合計は六十億三千三百萬圓で、七月六日現在に比し二億九千二百萬圓の增加であつたが、預金は僅かに一億千二百圓の增加に過ぎず、需要に對し供給はその三分の一の割合であり、またかゝる情勢を反映して各金融機關の社債前借金の激增を示してゐるが、八日末現在における右總額は興銀のみで四億九千八百萬圓でこれらを上期末に比すると一億五百萬圓の增加となつてゐる

總動員法に基づき
政府金融調整計る
單行勅令公布の準備

【東京同盟十三日】政府は資金調整法及び總動員法に基く資金融通令とにより資金調整を行ひ、金融機關に對して適宜調整にあたつてゐたが、今回單行勅令銀行資金運用令を總動員法により公布すべく大藏省を中心に研究中であるが、その骨子は次の通り

一、金融機關の資金賦與に對し調整を加へる

二、運轉資金その他の資金の貸出につき調整をする

三、資金融通令を興銀以外にも擴大する、しかして第一については從來五千萬圓以上の預金ある銀行に對し必要事項の報告を提出せしめこれに基き資金運用を協議指導してゐたものに從前根據を與へんとしたものである、第二には各債務者殊に前年事編までの貸出は自由としこれを運轉するものにはその使途等につき審査の上許可せしめるもので、第三は融資命令を妥當り朝鮮殖產銀行に擴張し、朝鮮における生擴資金調達に資せんとするものである

切符制更に擴大
タオル、手拭にも實施

【東京十三日同盟】商工省では砂糖、マツチの切符制につい で生活必需品たる被服類の切符制につき研究中のところ、その程成案を得たので、今回特綿、タオル及び手拭の切符制を斷行することゝなり十月中に實施することゝなつた、これに續き紙下、小學生用服地と基本的需要品の切符制を實施する筈である

金融にも新體制
國策協力に邁進
日銀の音頭で協議會を結成

【東京十三日同盟】十二日の日銀主催金融懇談會において日銀はじめ手形交換所、地方銀行協會、貯蓄銀行協會、信託協會、產組中央金庫、主損輸會などの大團體をもつて全國金融協議會を結成し、各種金融機關の連絡提携により國策協力に邁進せんとする金融新體制案が決定された

經濟新體制の鍵
機構よりも人的へ
重要產業團體の懇談會

【東京十三日同盟】重要產業團體の懇談會では十三日午後工業クラブに第二回總會を開き「民間經濟新體制要綱」を再檢討した結果、原案中に一、經濟新體制の成否如何は機構よりも人にあり、故に官實的人事を慎し有能なる人物をして各々の適處に配かしめ、その能力を最大限に發揮せしめること

の一項を追加挿入し、更に原案中の官民連絡の樣式はなほ今後の研究にまつことゝして同社優秀船日昌丸（八、八〇〇トン）型客船二隻及び六、八〇〇トン型貨物船二隻の建造を三菱神戸造船所に發注することになつた、後工は昭和十七年末の豫定であるが、疎開の關係上現在の日蘭航路は現在の日昌丸以下十三隻に右新造四隻が加はり非常な強化を見る

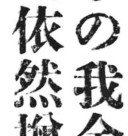
日蘭緊密化へ
新たに貨物船建造

【神戸十三日同盟】南洋海運では日蘭航路擴充強化のため

經濟產業を合理化
先づ生產力擴充に主力

【東京十三日同盟】經濟新體制の發展は生產、配給、消費の各部面における徹底的な組織化を伴ひ、特に中小業者を主體とする產業にあつては生產を能率化し、配給を適切ならしむるため、企業の合同乃至は新會社の設置方を見る場合が多々豫想され、資金調整整理統合は國防國家建設に對し當局はこれに對處、從來の方針を一擲、調整法の運用を緩和し合同を積極的に强化する方針である、統制經濟の進展によつて經濟產業金融の合理援助する事となつたのである

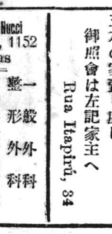
西南



ろを見せないイタリアが、とうゝ埃及に手をつけたといふ▼スエズ運河を隔てゝエチオピアの大植民帝國を控えるイタリアとしては、兎角埃及が犯ッ氣なのは當然の話▼スクリーン上に舞かに映し出されるようになれば、これ又血湧き肉躍る壯觀ともならうへ手出しせねば、埃及は穏しく引込んでゐると獨防線を張る首都に爆彈の落しくらをやつてゐる際、今度はイタリアがゾツとしないとばかり、双方とも手出しを控えてゐたが以來、一向パッとしたことも知れない▼兎に角、今度の事は全組風もな戦爭に進展しないが、馬鹿正直に力押しでやつて來た大人命の犠牲なほ拂はぬより、各國共著心してゐる▼ソ聯の如く中立だゝと大聲疾呼しながら、戦爭のような金と暇を食ふ馬鹿げた方法はとうすに思はぬ拾ひ物をしてゐる國もあるなど▼そもゝ〜末期の世、斬取り強盜武士の習ひ、日本の戦國時代もかくやとばかり、傾聴する輩もあらうが▼そこから新しい時代が生れるとすれば致し方のないところでもあらうか

事變下の我金融界
需要依然增勢を辿る

モーク經濟相の片腕として一活躍してゐる



▽…去る十一日モヂアナ線イツペラーバの製材所は原因不明の出火により新からの烈風に煽られた火焔に附近の附屬建物も含め全焼、損害四〇コントといはれる

▽…サン・パウロ—クリチーバ街道の中間に位するカボンボニート町中央廣場には今度バス停留所が新設され、附近にはバーやレストランも開かれ賑かになると

▽…ソロカバナ線ランシヤリアには今度都營の大屠殺場が建設されることになつたと、同地附近の牧畜業者に歓迎である

▽…汎米珈琲委員會は去る十二日ワシントンにおいて開かれたが、珈琲生產各國何れも自國の主張を貫ぬき議事は停滯のまゝ協調點に到らなかつた、殊にクーバ、メキシコ、ベネズエラ、グアテマラ諸國は自國の輸出割當增加を要求したので十四日再開されることになつた

▽…アメリカ輸出入銀行は對南米貿易促進のため五億弗に資本金を增額するに決し、過般上院を通過したが、右により「ブラジルの製鐵業に對し一千七百万弗の融資を行ふことになるであらうと傳へられる

賣牛乳店

盛業中の牛乳店賣り度し
理由及條件は左記へ
R. Muniz de Souza, 372

賣家

格安にてイタビル一街三四及三六の家賣り度し
御照會は左記家主へ
Rua Itapiru, 34

Dr. Pasqualino Nucci

R. Luzitana, 1152
Campinas

整一骰形外科
骨接骨、關節炎
骨骨
診療時間
午前九時至十時
午后三時至五時半

急募

二、三名
年齢は問はず、希望者は左記へ
商談の上
サントス市マルシアル・ペーゴ・ジユニオール街一六
遠木

貸家

ベンソン、研究所、事務所、診療所、組合本部又は大家族向としてプレチオオ貸し度し
御照會及場所は左記へ
午後一時以降
Rua Galvão Bueno, 351
Largo da Liberdade

寫眞

平井

Rua Irmã Simpneiana, 120

齒科古澤

ブクンクン大通り中間
コチア道の向側
エステヴアン・ロツペス街一七

紙函

聖市クリセオ街去三七四一古巴
長田ージロ
郵函三一〇九番
電話七・二六七四番
電話七・一二六七番

農產物仲買及委托販賣

聖市中央メルカード・パラツカ三七
新垣幸一
電話二—〇〇八七番

金

ダイアモンド、モンテソロ、廣札、貴石、飯、白金舊價買入れ
ブラジル銀行認可
Dal Monaco
R. Alvares Penteado, 203 (ant. 29) 3°. and. sala, 6

Dr. Adolpho Bettiol Guido

Rua da Gloria, 734 S. Paulo

齒科

口腔各種治療
各種義齒作製
絶對無痛治療
米國式
診察時間……午前九時半より午後九時迄
特に日本人の皆樣へは安く可峯に致します

BAR e REST. LEÃO

Av. S. João, 284
Fregado ao Correio Telegr.
何時も暖い食事
タンバ牛立
一ミルヤ六〇〇

惠比須屋

電話 2-2194
聖市トーマス・デ・リマ街二八三(郵函三六八)
御婚禮、御祝儀、お土產に
かまぼこ

募集

聖市郊外に於て蔬菜、果樹、養鶏に從事する家族を好條件にて募集致します
御希望の方は左記へ
モヂ產組出張所內　青田
聖市アニヤンガバウー九〇三
電話二—九八六六番

Bar e Restaurante Pan Americano

R. Xavier de Toledo, 47 e 51

聖市上流社會人の集合所
アルモツソ・コメルシアル　六鈎
ジヤンタール・コンセルト　七鈎
午前八時より午後十一時迄營業

白蘭の歌

リスのルーリ
一大場面

李香蘭
長谷川一夫

「白蘭の歌」の配給はアリアンサ映畫配給株式會社と契約成りましたので本紙記載の所の上映を以つて日本人專門としての興行は最終ですから御見逃しなき樣御來觀の程を願ひ上ます

九月十六日四日間サントス市

十六日　午後七時半　二回上映　シネ・コリゼオ
午後九時半
十七日(マチネ)午後二時より午後七時半分より　グアーラ
十八日(マチネ)午後二時より午後七時半分より　ユニオン
十九日　午後七時半　カンポグランデ劇場

廿一日　午後八時より　リベロンピーレス町
廿一日(マチネ)午後三時より　ヂユンジヤイ町
廿三日　午後七時半より　ヂユンジヤイ町
廿五日　午後九時より　リベロンピーレス町
廿六日　午後八時より　◎マリリア(主催青年團)
廿七日
廿八(土)　午後七時十五分、九時十五分　ロンドリーナ町
廿九(日)(マチネ)午後四時、七時十五分　シネ・ムニシパール
卅日　午後七時半より　オウリンニヨス

九月卅日
午後八時より
上海陸戰隊ピサンベルナード
アラツツウバ、バルバライソ、ピリグサ、リンス
ベラクルース、ポンペイア、バストス、プレジデンテ・プルデンテ
南米興業會社

胃腸樂養わかもと

(入錠百參)

効力本位に改良されつゝある錠劑「わかもと」

錠劑「わかもと」の味が變つたのは何故でせう？

今迄全然入つてゐなかつた大變身體のためになる藥用菌「アスペルギルスN・K菌」を新しく加へる事にしたため、幾らか甘く香も少し變つたのです

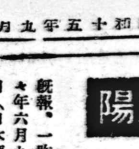
錠劑「わかもと」がこわれやすくなつたのは何故でせう？

新らしく加へられた藥用菌が固まらない性質のものですから、それが爲めこわれ易いのです、これに就いては目下研究中ですから遠からずもとの固さになる事と思ひます

株式會社わかもと本舗

黒い太陽に挑戰

山本博士一行 ぶえのす丸で來伯



既報、一昨年六月九日（日本標準時）南太平洋から南米ペルーにかけて見られた「黒い太陽」観測のため我國から由御も皆既日食観測隊が出動し、一行はいよいよ商船ぶえのす丸で本月中旬頃着伯することになつた由

なほ、今回の観測は歐洲動亂の最中であり國際情勢から推してこの千載一遇の「黒い太陽」に向つて挑戰するのは既に着伯した米國天文學者のみと見られ、日本観測隊の來伯は日米兩國間に物凄い觀測戰を展開、全世界の科學の眼はこの晴れの舞台に集中されるものと見られてゐる

（寫眞は山本博士）

本篇一博士を隊長とする観測隊を派遣、米佛の學者を向こに廻して堂々たる成果を收めて凱歌したが、今年十月一日「黒い太陽」は再び南米の空に姿を現はし、ブラジルの北部が観測の中心地となるので、東亞天文協會では由本博士一行の観測隊を送る事になり種々準備が進められてゐたが、一行はいよいよ商船ぶえのす丸で本月中旬頃着伯することになつた由

なほ、今回の観測は歐洲動亂の最中であり國際情勢から推してこの千載一遇の「黒い太陽」に向つて挑戰するのは既に着伯した米國天文學者のみと見られ、日本観測隊の來伯は日米兩國間に物凄い觀測戰を展開、全世界の科學の眼はこの晴れの舞台に集中されるものと見られてゐる

（寫眞は山本博士）

長期戰

◎…先頃の氣狂ひ天候で一寸餘もある鯖の大軍が湧き出で夜になると市内の燈火を目指し亂舞、街の中はウカ〳〵散歩も出來ない有樣だつたが、この雨で叩き落され街路に死骸をさらしてゐる、それでもまだビルディングの壁にはとりついてゐるものもあり グロな模樣を描いてゐる

◎…キンゼ街の岡本氏經營のシヤー・リベイラは各新聞社のスポーツ記者の溜り場で、そのため職業レスラーや拳闘家が集り毎月午後になると賑やかである、あそこではウツカリ喧嘩も出來ません！

◎…この土曜日には總領事館對蹠産組中央會の野球試合があるが、サテ困つたのは勸業部——中央會は可愛い子供だし、かと云つて總領事館に弓をひく譯にもいかず困惑してゐたが、矢張に逃つてゐたが、矢張り勸業部のスポーツ記者の溜り場で、そのため職業レスラーや拳闘家が集り毎月午後になると賑やかである、あそこではウツカリ喧嘩も出來ません！

◎…この土曜日には總領事館對蹠産組中央會の野球試合があるが、サテ困つたのは勸業部——中央會は可愛い子供だし、かと云つて總領事館に弓をひく譯にもいかず困惑してゐたが、矢張に逃つてゐたが、矢張り勸業部のスポーツ記者の溜り場で、そのため職業レスラーや拳闘家が集り毎月午後になると賑やかである、あそこではウツカリ喧嘩も出來ません！

◎…この土曜日には總領事館對蹠産組中央會の野球試合があるが、サテ困つたのは勸業部——中央會は可愛い子供だし、かと云つて總領事館に弓をひく譯にもいかず困惑してゐたが、矢張に逃つてゐたが、矢張り勸業部のスポーツ記者の溜り場で、そのため職業レスラーや拳闘家が集り毎月午後になると賑やかである、あそこではウツカリ喧嘩も出來ません！

◎…この土曜日には總領事館對蹠産組中央會の野球試合があるが、サテ困つたのは勸業部——中央會は可愛い子供だし、かと云つて總領事館に弓をひく譯にもいかず困惑してゐたが、矢張に逃つてゐたが、矢張り勸業部のスポーツ記者の溜り場で、そのため職業レスラーや拳闘家が集り毎月午後になると賑やかである、あそこではウツカリ喧嘩も出來ません！

◎…近頃の暑さ続きに逃つてゐたが、矢張り勸業部のスポーツ記者の溜り場で、そのため職業レスラーや拳闘家が集り毎月午後になると賑やかである、あそこではウツカリ喧嘩も出來ません！

◎…この土曜日には總領事館對蹠産組中央會の野球試合があるが、サテ困つたのは勸業部——中央會は可愛い子供だし、かと云つて總領事館に弓をひく譯にもいかず困惑してゐたが、矢張に逃つてゐたが、矢張り勸業部のスポーツ記者の溜り場で、そのため職業レスラーや拳闘家が集り毎月午後になると賑やかである、あそこではウツカリ喧嘩も出來ません！

◎…この土曜日には總領事館對蹠産組中央會の野球試合があるが、サテ困つたのは勸業部——中央會は可愛い子供だし、かと云つて總領事館に弓をひく譯にもいかず困惑してゐたが、矢張に逃つてゐたが、矢張り勸業部のスポーツ記者の溜り場で、そのため職業レスラーや拳闘家が集り毎月午後になると賑やかである、あそこではウツカリ喧嘩も出來ません！

◎…近頃の暑さ続きに逃つてゐたが、矢張り勸業部のスポーツ記者の溜り場で、そのため職業レスラーや拳闘家が集り毎月午後になると賑やかである、あそこではウツカリ喧嘩も出來ません！

◎…この土曜日には總領事館對蹠産組中央會の野球試合があるが、サテ困つたのは勸業部——中央會は可愛い子供だし、かと云つて總領事館に弓をひく譯にもいかず困惑してゐたが、矢張に逃つてゐたが、矢張り勸業部のスポーツ記者の溜り場で、そのため職業レスラーや拳闘家が集り毎月午後になると賑やかである、あそこではウツカリ喧嘩も出來ません！

◎…この土曜日には總領事館對蹠産組中央會の野球試合があるが、サテ困つたのは勸業部——中央會は可愛い子供だし、かと云つて總領事館に弓をひく譯にもいかず困惑してゐたが、矢張に逃つてゐたが、矢張り勸業部のスポーツ記者の溜り場で、そのため職業レスラーや拳闘家が集り毎月午後になると賑やかである、あそこではウツカリ喧嘩も出來ません！

◎…この土曜日には總領事館對蹠産組中央會の野球試合があるが、サテ困つたのは勸業部——中央會は可愛い子供だし、かと云つて總領事館に弓をひく譯にもいかず困惑してゐたが、矢張に逃つてゐたが、矢張り勸業部のスポーツ記者の溜り場で、そのため職業レスラーや拳闘家が集り毎月午後になると賑やかである、あそこではウツカリ喧嘩も出來ません！

◎…近ごろ伯國蹴球界も大變な向上振りで全伯蹴球連大會にはマラリ有段者が擁を揃へる豪華さ、一方伯人間にもグンゝと進歩、目本武道の醍醐味を滿喫するもの目を驚ろかす偉觀を帶びて來たが、では柔劍道本家本元の日本の近況は如何にとうかゝへば、余りの豪華版に目が翻りそう

◎…先づ近着の講道館柔道有段者名簿を見ると男子では十段三名を筆頭に有段者總數八万三千二百六十名メて十三万九千八百八十二段初段、二段など帶でやく程（イヤとれは失禮）女子でも同段と三段が各一名あて、二段、初段は三名づゝとなつてゐる

保管するのはいいが飼料も喰はせねばならぬといふので今後は保管料を貰ふ事になつたと

◎…近ごろ伯國蹴球界も大變な向上振りで全伯蹴球連大會にはマラリ有段者が擁を揃へる豪華さ、一方伯人間にもグンゝと進歩、目本武道の醍醐味を滿喫するもの目を驚ろかす偉觀を帶びて來たが、では柔劍道本家本元の日本の近況は如何にとうかゝへば、余りの豪華版に目が翻りそう

◎…先づ近着の講道館柔道有段者名簿を見ると男子では十段三名を筆頭に有段者總數八万三千二百六十名メて十三万九千八百八十二段初段、二段など帶でやく程（イヤとれは失禮）女子でも同段と三段が各一名あて、二段、初段は三名づゝとなつてゐる

人的資源は全伯一 斷然多いサンパウロ州

小學生七十万二千六百四十八人

— O ensino primario e secundario —

次代のブラジルを背負つて立つべき小中學校生徒は一體どの位いゐるであらうか、本年度伯國年鑑に掲載されたところによると、主なる州の中學校、小學校生徒數は次の通りである、（但し一九三八年）

	中學生	小學生
聖市	七三、六四八	四、五八一、九一四
ミナス	四七、九一七	二、九六六、三五二
南大河	二〇〇、三七二	六、三二、九五二
リオ市	三二、三三二	三、八三二、〇〇〇
リオ州	一六、四〇二	七、〇〇〇、一三七
聖カタリナ	一六、〇〇〇	一、三二七
ペナンブコ	二五、三九九	七、一四九
バイヤ	一〇八、四四四	四、二五三

小學生十萬以上の州を列擧したが、矢張り聖州は小、中學とも斷然他州を抜いて、人的資源においてもブラジル一なる點を示してゐる、リオ市の中學生の多いのは矢張りお膝元だからといへよう

揮ふ改革のメス！

主任には日本病院 村井庶務課長が兼任 一路明朗化へ

高原療養地カンポス・ド・ジョルダンにある同仁會經營の結核療養所は目下村井日本病院庶務課長が主任を兼ねることになり、村井氏は去る十日療養所を訪れ、種々改革のメスを揮つて この程歸聖した

村井氏の主任兼任によつて療養所も明朗化され一般同胞の期待に添ふことゝなるだらうなほ現在五十五、六名の患者が收容されて居り、療養所サロンに盛々しく掲げられてゐた聖川前領事の額は何時の間にか取り拂はれて療養所の廣場を寄贈してくれた恩人前外相マセド・ソアレス氏の寫眞が掲げられ、その恩を忘れぬ村井氏の主任兼任と共に今後は規則を嚴重に守り、患者が療養出來る樣に而目を一新する由

日本觀光宣傳ポスター 入選者發表

一等は獨乙人クランケ君

既報、在リオ市日伯中央協會傳ポスターを募集したが、ブラジル支部では日本觀光宣募數七十五點に達し去る九月三日審査會を開催した結果、一等入選者は獨乙人クランケ君（聖市）賞金二コント

▲二等、アリ・ファグンデス（リオ）賞金一コント

▲三等、ベンジヤミン・カルツアリヨ（リオ）ライムンド・ノゲイラ（リオ）賞金五百ミルなほ一等當選のカルロス・クランケ君は獨逸人でムニヒ及び伯林で練を積で渡伯僅か二年しかならぬが、市立蹴技場ポスターをはじめ、工業展覽會等のポスターに應募一等賞を獲得してゐる

（寫眞は一等入選の鳥居に樓花を配し前方に富士山を描いたもの、と作者カルロス・クランケ君）

正にマンジオカ時代

珈琲も棉花も今年や之には太刀打ならん

組合組織の有利さ

從來せいぜい自家用程度にしか考へられなかつたマンジオカも、一九三七年末パン製造にマンジオカ粉混入が實施されて以來、俄かに一人前の農作物となつて農業戰線に浮び上り、その後邦人農家にも栽培熱大いに昂まつてゐるが、今年などは珈琲、棉を尻目に圧然「マンジオカ時代」を現出、ラスパ一キロ四百レースの好値を出して取引も殆んど終りに近づいた今日ではアルケール當り五コントから一コント五百ミルの純益といふことになるが

それでも今年の棉、珈琲に比べると全くボロい話だ、然も方々にマンジオカ成金が出來上りそうな景氣である、ノロエステ、ソロカバナ方面でマンジオカ製粉工場を共同經營し組合組織によつて大々的に栽培を行つてゐる

マンジオカは二年生であるから一コント五百ミルの純益といふことになるが

それでも今年の棉、珈琲に比べると全くボロい話だ、然も工業の發達と海外輸出の促進御承知のやうにこの位ひ手輕に栽培出來るものは農作物界廣しといへどもこれに太刀打ち出來るもののなしと來てるし値はよし栽培は至極簡單と全く「マンジオカ萬々」といひたくなる、ところが好事魔多しで早くも生産過剰の徴候が現れて關係者連を心配させてゐるが、これの用途と來ると

第一にアルコールの製造、次には製紙にも一役買つてゐるし、綿布用糊その他工業用結着劑としてよしで頗る廣範なもの、將來伯國政府で奬勵グランデ、フォルクレーザ、ランデア、フォルクレーザ、州財務長官コリオラノ・デ・コエロ氏は昨日アデマル新政權の手許に報告を提出、當面の問題のものが多いので、遂にこれを實行後任には現農村協會長マリオ・ロリン・テレス氏が任命、本日就任式を擧行する氏は聖州農界の重鎮、ジエリオ・プレステス州統領時代の財務長官の經驗もある人物、臺風式の通り

新財務長官に ロリンテレス氏就任

O Sr. M. R. Telles foi nomeado para o secretario da Fazenda

などにより需要の途も大いに拓けて來やうし、そうなればマンジオカも珈琲、棉花に伍してブラジル農産物界に重きをなして來るだらう、と消息通もマンジオカの前途洋々たるところをにはしてゐる

一八八七年サンロッケに生る、一九〇八年聖市法大卒後事を經て農界に身を投じテーラロッシヤに耕地經營大いで代議士に選出、上院議員を經て一九二六年より二九年までプレステス政府の財務長官となり、珈琲市價維持政策の立案者として活躍、その後政變により政治界より引退專ら農業に和事して現在に及ぶ

聖市伯國銀行支店 十一月新築の運び

總工費二万五千コント

伯國銀行の業務は年々增加の一途をたどり最近各州首都に支店擴張のため建物新築案が更に要求されてゐる處、聖市においては來る十一月サン・ジョアン街とサン・ベント街との間に新建物を建設することゝなつた、新建築は二十二階の摩天樓で總工費二万五千コントの予算である、なほ聯邦政府では現在ニテロイ、カンポグランデ、ペロ・オリゾンテ、ジョアン・ペツソア、ウベルランディア、フォルクレーザ、クリチバー、ウルグアイアナの各市に現在新建築工事中で何れも九千コントの予算である

更にマラニヨン、パツソル、フロリアノポリス、イグアペー、サントス、レシフエ各市にも新築の計畫である

進め體位向上へ 早起體操會

元神戸商大の體操教師であつた岡田巌定氏は渡伯後も在留同胞の體位向上を目指し、早起體操會を主催し指導して來たが左の日割で體操會を催してゐるから是非參加していただきたいと

▲毎週月、水、金曜午前七時より三十分間—イビランガ岡田巌定方

なほ希望により出張指導もなすと

宮腰海興支店長 岳父祇園氏逝去

宮腰海興支店長の岳父祇園清次郎氏は去る十二日大阪市住吉區松崎町の自宅で逝去した氏は大阪製鐵、弘益煉瓦、雲關液體部に席を置いた後、今般新聞部を新設致す事になりました商科、中等科一學年入學並備科の入學受付を開始致して居ります、寫真は男女共學者グループ、四年在學者、私立コレージオ在學者又は卒業者です

校學業商ロウパンサ

北五 本社特派 全伯野球巡回 球の跡

（北海道）西あたりから遠征に來た中學チームが、暑過ぎて氣分が出ないとあたりから聖市へ遠征に來ると寒過ぎて氣分が出ない、やつぱりじつとしても汗が出るような暑さのなかでやつた方がよいらしい

（對オラ）トリオ戰でチエテが苦戰したのは午前の試合だつたので疲れたためと云はれてゐるが、たしかにそんな點もあり、たしかに、それにこのチームの面白いところは逆のものなら投手が不調だつたらみんなしてが投手を慰めて無論涙ぐましい場面が出來るのだが、このチームは反對に「何をしチヨロヨるか、コラ頑張らんか」とバツクから下ヤシ上げられてゐることだ

×

（田口投）手など盛んに叱られてゐたが、あれで起直るのだから面白い子供をあやすようなもので甘やかしてもダメだ、あんまり叱つてもよくないと云ふ仲々難かしいところだが、投手を奮起させる一法として興味深いものだ、アリアンサの「泣いて打て」と共にノロエステらしいところがあつてよい

×

（主將中島）鉄塊揮々しい豪腕ピンチに積へてゐた、○○部隊長が擔架に乘つて前線指揮に乘出した如く、中島主將戰友に助けられて起上つてナインを激勵したり、肩をかして貰ひ踏を曳きつゝ塞制に申入れたりしてた有樣は涙ましい限りだつた

×

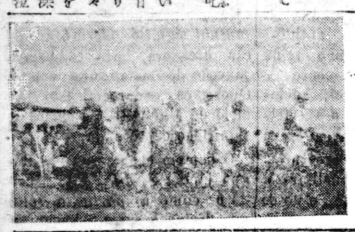
（中島の）鉄塊は實際チエテにとつて致命的だつた、中堅で駿足を誇つて廣範守備圏を誇つた防壁が潰れたのみならず、打撃でも五番に大穴があいた、投手でもなしに、そうなれば試合はどうなつてゐたかも知れぬと云ふ

の、チエテ・フリンの云ひたいところは結局こゝに落着することになる

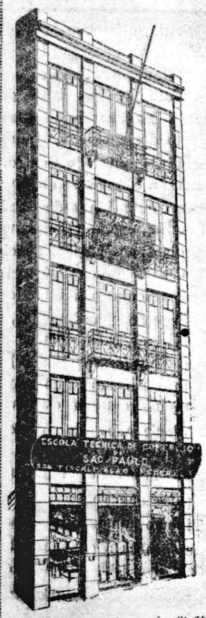
（寫眞上は張切り守備につくチエテ・チームと踵に繃帶しベンチに控へる中島主將）

ち投手ももつと安心して投げ得たであらうし、郷黃中島の脚だつたら優勝戰第一回の三塁打も掴んでゐたかも知れぬし、そうなれば試合はどうなつてゐたかも知れぬと云ふも

前覇者チエテの……ために惜しむ！



Escola Técnica de Comércio de São Paulo
…… 聖市政府監督 ……
Rua 11 de Agosto, 138
Junto á Praça da Sé



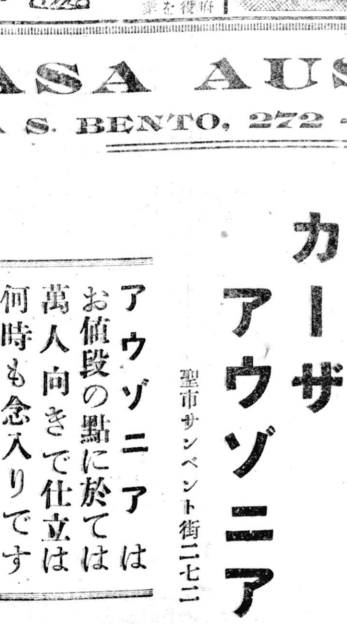
サウバ根絶には二硫化炭素を！
……純良二硫化炭素劑で經濟的効果一〇〇パーセント
クアトロパウは……

⊙特約店⊙
山東ザーカ
サンパウロリンス
マリ、ヤブ・ブルデンテ

DIANA
レストラン・喫茶室・バール・ロチセリ・室内オーケストラ・優雅な雰圍氣
聖市に於ける唯一の安息娯樂所
夜の一時まで營業致して居ります
R. B. de Itapetininga, 111

Yoshinobu Sakai
Mercado Banca, 25.
SANTOS
鮮魚問屋
坂井兄弟商會
漁獲部 坂井保芳
サントス市ポンク・グ・ブライア
（サントス漁業組合所在地）
販賣部 坂井芳信
サントス・メルカード・バンカ二五
御照會はメルカードの方へ

CASA AUSONIA
RUA S. BENTO, 272 - SÃO PAULO
高尚な洋品店
アウゾニアは常に斬新で優美な内外製カジミーラを提供する唯一の店です
カーザ アウゾニア
聖市サンベント街二七二
アウゾニアはお値段の點に於ては萬人向きで仕立は何時も念入りです
清楚な洋服店



大同生命、ラサ工業、別府大分電鐵各株式會社監査役昭和合成化學工業相談役を勤め大阪では鳴らした實業家であつた

（十三日）

	安値	高値
▼アロース		
アグーリヤ（上等）	二〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇
ブランコ	二〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇
カテテ	一四〇、〇〇〇	一四〇、〇〇〇
▼フエイジョン		
ハラチー（上等）	一七〇、〇〇〇	一七〇、〇〇〇
同（中等）	一四〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
▼ミーリヨ		
アマレーロ	一七〇、〇〇〇	一七〇、〇〇〇
アマレロン	一六〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇
クリスタル		
▼パタタ		
アマレーラ（玉）	一七〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇
ブランコ（中）	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇
▼マニオカ粉	六〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇
▼棉實	三、〇〇〇	三、〇〇〇
▼アメイヤ（上）	一四、〇〇〇	一四、〇〇〇
▼セボーラ		
▼砂糖	一、一〇〇	一、一〇〇
レフイナード（特上）	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇
▼オルロー（上）	六、〇〇〇	六、〇〇〇
▼スクール	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
▼小麦粉	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
▼珈琲	一四、〇〇〇	一四、〇〇〇
▼棉花	一四、一〇〇	一四、一〇〇

野菜部（コチア）（十三日）

	安値	高値
▼トマテ（箱）	二四	二六
▼ルボーリヨ（袋）	一五	二二
▼エルヴイリヤ（箱）	二五	二六
▼ビメントン（箱）	一〇	一四
▼パージエン（箱）	一〇	一四
▼ベーノ（箱）	二五	二六
▼パタタドーセ（袋）	一〇	一四
▼ポブリーニヤ（箱）	一〇	二五
▼セノーラ（束）	一	一五
▼コーベフロール		
▼ナス（箱）	一四	一八
▼玉子（打）	一七	二五

Redacção e Administração:
Rua Maestro Cardim, 1109
Teleph.: 7-3325 e 7-3326 - Cx. Postal 375
SÃO PAULO-BRASIL

BRASIL ASAHI
EX-NIPPAK SHIMBUN

DIRECTOR: José Yamashiro

ASSIGNATURAS:
PARA O BRASIL Anno . . . . 60$000 / Semestre . 30$000
PARA O EXTERIOR - Anno . . 120$000
ANNUNCIOS — Tomar a direcção dos interessados uma tabella completa de preços p/ annuncios em folha

Anno I | São Paulo — Sabbado, 14 de Setembro de 1940 | Num. 44

NOTAS E EDITORIAES

A questão da Indo China Franceza está sendo objecto de attenção, por parte de todos os observadores internacionaes. As noticias a proposito das suas relações com o Nippon são as mais desencontradas. Noticiou-se mesmo que o Nippon exigira, daquella possessão franceza, a concessão de bases militares e a permissão da passagem de forças imperiaes.

Não se deve, naturalmente, dar credito, tão cedo, a taes informações. A agencia Domei mantem um silencio absoluto a respeito do problema, de modo que não temos noticias seguras de origem nipponica. Podemos, entretanto, inferir que se estejam realizando negociações entre o governo de Tokyo e as auctoridades indo-chinezas e tambem com as de Vichy, desde a ida da commissão fiscalizadora á fronteira da Indo-China com a China.

Examinemos as relações do Nippon com a Indo China Franceza. Esta colonia franceza é rica em productos mineraes como coke e manganez e productos agricolas tropicaes como arroz, borracha e "teak" productos esses necessarios ao Nippon e por este vem importando em regular quantidade, porém incomparavelmente menor, se compararmos com a que o Imperio adquire dos outros mercados orientaes, como as Indias Hollandezas. Deve-se esperar um maior intercambio no futuro.

Pelo exposto vê-se que, no momento presente, as relações do Imperio com a Indo-China Franceza são mais politicas do que economicas, e sem uma solução satisfactoria, neste terreno, não poderá haver melhoria nas relações economicas dos dois paizes. A Indo-China Franceza mantinha relações pouco estreitas com o Nippon, por se encontrar além da China, mas após o conflicto chinez, com a expansão nipponica ao sul, ella se tornou, por assim dizer, paiz vizinho do Japão.

Portanto, é natural que ambos procurem melhorar suas relações.

A Indo-China Franceza foi, já muito antes do inicio da guerra européa, um dos paizes que mais auxiliou o governo de Chang-Kai-Chek, agindo de accordo com a metropole. Forneceu, por intermedio da chamada rota indo-chineza, grande quantidade de viveres e material bellico, ao governo de Chang-Kai-Chek, prejudicando enormemente a politica japoneza em relação á China. Entretanto, em menos de um anno após a eclosão da guerra européa, a França concluiu o armisticio com a Allemanha e effectuou uma rotação de 180 graus na sua orientação politica, approximando-se do eixo Berlim-Roma. E em consequencia dessa transformação, melhoraram as relações entre o Japão e a Indo-China Franceza. As auctoridades daquella possessão franceza permittiram a creação de uma commissão de vigilancia da fronteira, mostrando-se dispostas a auxiliar na medida do possivel, aquella commissão.

Esta modificação na attitude daquella colonia franceza, foi motivada, evidentemente, pela situação mundial, mas devemos notar que ella percebeu tambem a necessidade de cooperar com o Nippon, lider dos paizes asiaticos, uma vez que a França se encontra numa situação extremamente critica. O Japão enviou o ministro do Commercio e Industria ás Indias Neerlandezas, afim de reajustar, pacifica e amistosamente as relações dos dois paizes. E' mais um esforço do Nippon, no sentido de alcançar o seu objectivo final, que é a formação da grande Asia Oriental, livre e prospera.

Pelas razões que acabamos de expôr, o Nippon jamais ocupará militarmente a Indo-China, pelo contrario, ambos trabalharão, numa cooperação intima, baseada na mutua comprehensão, para o engrandecimento da Asia Oriental. Este deve ser o ponto de vista mais certo.

***

O sr. Kunimitsu Katsuyama, addido commercial da embaixada do Japão, esteve dia 12 na Directoria de Turismo e Propaganda do Districto Federal, para fazer a inscripção official do Japão á XIII Feira Internacional de amostras do Rio de Janeiro.

***

Realizou-se hontem, ás 11 horas, na Secretaria da Fazenda, a posse do sr. Mario Brelim Telles, no cargo de titular da Pasta. Transmittiu o cargo em nome do sr. Interventor Federal, o sr. Moura Rezende, secretario da Justiça.

***

O capitão Sylvio de Magalhães Padilha, director da Directoria de Esportes do Estado de São Paulo, designado por acto de 11 p. p., do sr. Interventor Federal, para responder pelo expediente do Departamento de Educação Physica do Estado, tomou ante-hontem, ás 17 horas e meia, posse do novo cargo.

***

O sr. Presidente da Republica assignou, ante-hontem, um decreto, na pasta das Relações Exteriores, conferindo o grau de "cavalleiro" da Ordem Nacional do Cruzeiro do Sul ao sr. Kazukiyo Irie, segundo secretario interprete da Embaixada do Japão no Brasil.

Medidas economicas da nova organização politica nacional

Tokyo, 11 (Dômei) — Levando em consideração a alta importancia, o problema da producção industrial, o Instituto de Controlle de Industria Pesada vinha realizando estudos a respeito, acompanhando as transformações que o Japão vem soffrendo na sua vida politica. Ainda hontem, realizou-se uma sessão em que tomaram parte grande numero de industriaes, representantes de industrias de ferro, aço, carvão, cimento, emprezas de luz e força, transportes maritimos, construcções navaes etc.

Na reunião de hontem foram apresentados os traços geraes e fundamentaes do plano industrial, devendo ser discutido novamente na sessão do dia 13. Approvado, este plano servirá para a orientação das medidas economicas a serem tomadas pelo novo regimen politico nacional.

Mudança da Universidade Sudoeste de Kom-ming

Hong-Kong, 9 (Dômei) — A Universidade Sudoeste de Kom-ming, equiparada com a celebre Universidade Central de Chungking, contando com 3.000 alumnos e 700 professores dos mais famosos de toda a China, vae transferir-se para Shishang, de accordo com a instrucção do governo Chang, afim de se livrar dos bombardeios aereos nipponicos.

A cidade de Shishang, escolhida para nova séde da Universidade Sudoeste, é um prospero centro industrial, de clima saudavel, localizada no ponto central da provincia Sitwen.

Os circulos economicos chinezes commentam que a transferencia da notavel academia chineza talvez venha transformar essa cidade em grande centro industrial, ao lado da affluencia de elevado numero de estudantes.

O referido facto está tambem chamando a attenção especial dos meios interessados que vêm nesse acto, os preparativos do governo Chang para a passagem da sua séde politica para aquella movimentada cidade.

Impressos?

Procure a typographia

NIPPAK-SHA

Chang em negociações secretas com os EE. UU.

Tokyo, 9 (Dômei) — Teve repercussão verdadeiramente sensacional a descoberta das negociações que o general Chang, esgotado de todos os recursos para obtenção de meios financeiros, estava, em caracter confidencial, adeantando no sentido de contrahir dos Estados Unidos um emprestimo de 20 milhões de dollares, dando em garantia os preciosos thesouros nacionaes do Museu "Kokyn".

O referido thesouro é constituido de uma collecção de objectos de grande valor historico e artistico que se achavam depositados em Londres e que foram ha quatro mezes, transportados para Nova York, temendo a violenta offensiva germanica contra o Imperio Britannico.

Proseguem os trabalhos da Commissão Preparatoria do novo regimen

Tokyo, 11 (Dômei) — Na 4.a reunião da Commissão Preparatoria da nova estructura politica imperial que teve lugar hontem, foram calorosamente debatidas diversas suggestões referentes aos principios fundamentaes e estructuraes do novo regimen, que já tinham sido examinadas na sessão da Commissão Especial, no dia 9.

Após intensa discussão que durou cerca de 3 horas, todos concordaram com a opinião do snr. Furuno e decidiram reiniciar os estudos da organização basica do novo estado, levando em conta a fundação de um orgam de fomento e propulsão do novo movimento politico.

Sobre o nome do orgam, cada membro apresentará o seu parecer na proxima reunião a ser realizada no dia 13.

Conta que, com a sessão do proximo dia 13, serão encerrados os trabalhos da Commissão Preparatoria.

O commercio exterior do Japão
Augmento da importação

Tokyo, 11 (Dômei) — O commercio externo do Japão, segundo dados fornecidos pelo ministerio da Fazenda, apresentou o seguinte movimento na primeira dezena do corrente mez:

Exportação 96.537.000 yens
Importação 103.696.000 yens
Augmento a favor da importação 7.161.000 yens.

A somma total das differenças verificadas a favor da importação, nos nove mezes do corrente anno, foi de 265.499.000 yens.

De passagem por Hong-Kong o embaixador inglez na China

Hong-Kong, 3 (Dômei) — Segundo telegrammas de Chungking, o snr. Kerr, embaixador britannico recreditado junto ao regimen Chang, que deixou Shanghai com destino a Chungking, seguiu hoje para a capital nacionalista, após uma breve estada nesta cidade.

Consta que o embaixador Kerr conferenciará sobre assumptos de alta importancia com as auctoridades politicas do regimen Chang.

Augmenta a producção de cansulo no Japão

Tokyo, 9 (Dômei) — Segundo dados publicados pelo ministerio da Agricultura, a producção total de cansulo no anno de 1939 foi de 43,867.981 kan (1 kan equivale a 4 kgs), no valor de 500.499.471 yens.

Esta somma, comparada com o total produzido nos tres ultimos annos, mostra um accrescimo de 5% na producção e 7,92% no valor.

Ataque da aviação nipponica a Chungking

Tokyo, 13 — Um communicado naval nipponico, divulgado hoje, annuncia que, segundo os calculos effectuados pelos aviadores japonezes, cerca de 30% da cidade de Chungking foi reduzido a cinzas. A aviação nipponica executou hoje o seu 33.° ataque aereo á capital chineza, desde o dia 22 de Abril ultimo.

ACÇÃO NEFASTA DOS SOLDADOS NACIONALISTAS

Hong-Kong, 11 (Dômei) — Segundo noticias transmittidas de Yaokai á agencia U. P. de Hanoy, pelo telephone, a dynamitação da ponte metallica situada nas fronteiras da China e Indo-China Franceza, levada a effeito na tarde do dia 10 pelos soldados nacionalistas, havia sido preparada ha mais de 8 dias.

Consta, outrosim, que com o estrondo da bomba, a cidade Laokai experimentou momentos de intensa confusão.

O noticiario telegraphico publicado pelo 'BRASIL ASAHI' é fornecido pela Agencia Dômei, japoneza.

O Resurgimento do Espirito Japonez

Chikao Fujisawa

Continuação (2)

A ordem natural, inviolavel de alto a baixo, fica estabelecida, portanto, entre o soberano e o povo, o que protege para sempre a Nação Japoneza dum perigo de revolução destruidora. Esta hierarquia, eternamente mantida, entre o Tenno e o povo, não impede, porém, que cada um dos japonezes possa gozar de plena liberdade de desenvolver as suas aptidões potenciaes, pois o Tenno reina e governa verdadeiramente do mesmo modo que o Sol, anciosso de desenvolver e aperfeiçoar, com imparcialidade, a natureza de todas as creaturas. Assim, podem reconciliar-se, perfeitamente, no seio do nosso Estado, o principio de auctoridade e de unidade com o de liberdade e de multiplicidade. Eis que o Japão não pertence nem á Democracia nem á Dictadura: leva-se acima dos dois conceitos politicos oppostos. E' innegavel que a Democracia, por falta duma auctoridade centralizadora tende inevitavelmente para a anarchia, emquanto que a Dictadura não se exercerá senão prejudicando o desenvolvimento espontaneo da personalidade individual.

Acha-se na plena operação da força cosmica, — em japonez chamada *Musubi* —, a razão porque podemos realizar esta harmonia das duas idéas politicas em geral contrapostas uma a outra. *Musubi* compõe-se dos dois elementos importantes: *musu* e *hi*. *Musu* tem o significado de fermentação, de fomentação de producção, de creação, de expansão. *Hi* significa, primeiramente, o Sol ou o Fogo, e depois, a energia creadora armazenada no Sol, e graças á qual os animaes (inclusive homens), assim como as plantas, podem procrear-se, crescer e desenvolver-se. Numa palavra, *musubi* é uma força vital creadora que emana incessantemente do Sol brilhante. E' notavel que o nosso paiz se chama ás vezes *Hinomoto*: "o berço ou a origem do Sol". Disso provém a denominação, frequentemente usada pelos occidentaes, — "o Imperio do Sol Levante".

Devemos fazer notar que o Sol, symbolizado na mythologia japoneza pela Deusa do Sol Omnipotente, dá occasião a acção comica do *musubi*. Todavia, *musubi* verifica-se na alternancia dialectica duma funcção expansiva, centrifuga e individualizadora e duma funcção regressiva, centripeta e reintegrante. A uma attribue-se a acção do Deus *Takami-musubi* e a outra a da Deusa *Kami-musubi*. Ficando em constancia, causa o Sol, porém, esta polarização de Takami-musubi e de Kami-musubi, de modo que se realiza no Universo, continuamente, a evolução creadora e transformadora. Neste ponto, merece a nossa attenção particular o facto que *musubi* significa não só a acção creadora, mas tambem a juncção de mais duas coisas. Queremos esclarecer isto por meio de alguns factos cheios de significação profunda.

O homem chama-se, na lingua japoneza, *hito*, cujo sentido é como a *particula solar* que deriva a sua existencia da força cosmica exercida pela Deusa Solar chamada *Amaterasu-O Mikami*. Por conseguinte, todos os japonezes têm a consciencia cosmica de que não são mais do que raios innumeraveis da luz projectando-se da unica fonte que é o Sol. E' nossa convicção que a força originaria creadora, symbolizada pela Deusa Solar, se transmittio, pela lei da continuidade da dynastia ininterrupta, ao Imperador *Tenno* que governa actualmente o povo japonez.

(Cont. no proximo num.)

Reunião

Por uma dessas casualidades, — dessas raridades que attrahem —, na noite fria de quinta-feira, estava calida a atmosphera na reunião intima, promovida por José yamashiro, no "Clube Japonez", dada a presença sempre bemfazeja dos nossos jovens dainisei.

Foi um chá para conversa com meu Amigo, para ouvil-o fallar, com suas palavras bonitas, de sua viagem pelo Japão. Para sentirmos a vibração de José, dainisei de valor, o unico dos que foram e que teve a emoção suprema, excepcional, de ser chamado á presença de Sua Alteza Imperial a Princeza Takamatsu. Uma reunião intima, bôa.

Reunião agradavel, por uma outra razão. Porque reuniu quasi que a totalidade da elite dos dainisei de São Paulo, nas suas dezoito presenças. Todos jovens, e activos representantes de nossa juventude, daquella juventude se dia, que admiro. — M.

88 dias no Extremo Oriente

XI — José Yamashiro

Estiveram presentes ao nosso embarque representantes do "Gaimushô", das sociedades culturaes que patrocinam nossa viagem e numerosos estudantes das universidades tokyenses. Os estudantes da Escola de Linguas Extrangeiras, que mais trabalharam como guias e por por isso, mais se familiarizaram comnosco, cantaram o "Vira-vira"... Partimos entre vivas e *banzai*.

Acompanham-nos o visconde Inaba, os srs. Kanazawa, Nakamura, Yoshida e Yonekura. Vamos para Nagoya. O trem passa por entre arrozaes verdes e plantações de couves floridas, cuja côr amarella encravada no verde do arrozal, faz lembrar as côres brasileiras. Alguem exclama:

—Veja! Até a natureza nos recebe enfeitada de côres brasileiras!

Na provincia de Shizuoka vimos varias vezes o divino monte Fuji. E' mais bonito do que apparece nas pinturas. Possue algo de divino, superior aos qualificativos communs de bello, sublime, majestoso... Os proprios japonezes não escondem a sua emoção, ao contemplar o celeberrimo monte, pois este não é visivel sinão raras vezes, em dias claros como hoje.

Na estação de Nagoya, (10,38 hs.) fomos recebidos pelos representantes da prefeitura, da Camara de Commercio e Industria, da Federação dos Exportadores para a America Central e do Sul, da Casa Hachiya & Irmãos e da imprensa. Hospedamo-nos no moderno Kanko Hotel.

Nagoya é cidade industrial, com uma população de 1.200.000 habitantes approximadamente. A parte central está modernizada, possuindo edificios de bancos, companhias de seguros, "departament store", etc. Conserva, entretanto, muitos edificios de madeira, typicamente japonezes, com lanternas ovaes, annuncios de caracteres japonezes... As ruas são estreitas, com excepção de algumas centraes.

Nagoya, 27-4-40.

De accordo com o programma organizado pela Commissão de Recepção, fomos visitar, logo pela manhã, o castello de Nagoya. Um grande parque o rodeia. Tararacos em pela florescencia formosean o ambiente. Num campo ao lado, cavallarianos do Exercito Imperial em exercicio. O castello, com o seu famoso delfim, é lindo como apparece nos cartões postaes. Por falta absoluta de tempo não entramos. Apenas vimos os portões, os fossos e as cerejeiras ainda com flôres.

Em seguida visitamos a grande fabrica de porcellanas da Nippon Toki Kabushiki Kaisha. Foi-nos dado vêr todo o processo de fabricação dos conhecidos Noritake China.

Aqui ha uma completa divisão do trabalho.

Na moldação, no acabamento, na pintura, cada operario executa apenas uma pequena parte do trabalho. Alguns desenhos são estampados, outros executados a mão. Informaram-nos que actualmente ha falta de materia prima, (caolin). Passamos para a secção de amostras. Porcellanas ficissimas.

Almoço na sede da Camara do Commercio e Industria, offerecido pelo governo da provincia de Aichi, prefeitura de Nagoya, Associação dos Exportadores para a America Central e do Sul e Casa Hachiya & Irmãos. Houve a saudação do representante da Camara do Commercio e Industria, tendo respondido o nosso orador Romeu de Lucca.

A' tarde, visita ao jardim zoologico Higashiyama, o primeiro do Oriente. Animaes tropicaes (leão, jacaré) e polares (urso polar). Choveu um pouco, baixou a temperatura.

Visitamos, em seguida, a Casa Ando (*Ando Shippô-ten*), famosa pelos seus *shippô*, conhecidos no extrangeiro pelo nome de *cloisonné*. O que vem a ser *shippô*? Não temos nada que se possa comparar a esse thesouro da arte industrial nipponica.

Não é ceramica, nem charão, nem metal, nem pedra preciosa. E' como já disse, um thesouro. A palavra *shippô* é formada de *shiti* (sete) e *pô* (thesouro,) — sete thesouros.

Representam sete materias preciosas: ouro, prata, esmeralda, coral, agatha, crystal e perola. Na casa Ando, tivemos occasião de assistir o trabalho dos artistas que fabricam os *shippô*. E' um trabalho difficil, delicado e que exige muita habilidade e paciencia. Um vaso de *shippô* de tamanho regular, pode levar tres annos, para sua fabricação. Sendo grande, até 5 annos.

***

O sr. Hachiya, presidente da Hachiya Brothers, que possue filiaes no Rio de Janeiro e em São Paulo, offereceu um jantar a quatro caravanistas, num fino restaurante. Ambiente typicamente japonez, com *gueishas* de Nagoya que falam o dialecto desta cidade, tambem chamada Capital do Centro. E' interessante que no Japão ha grande quantidade de dialectos. A linguagem falada varia de região para região, de cidade para cidade. Todo o povo sabe o idioma official, devido á instrucção, mas no lar, na terra natal, e em certos ambientes, prefere o idioma local. O Mario Miranda, que tem especial interesse em estudar estas variedades de dialectos, aproveitou a occasião para tomar notas de algumas expressões nagoyenses.

Tivemos uma noite encantadora, graças á gentileza do sr. Hachiya e seus auxiliares.

(Continúa)